

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	相談支援体制の強化
区分	自立支援・介護予防・重度化防止

現状と課題

自立支援に資するケアマネジメントを基本に、地域ケア会議を通して地域課題を共有し、社会資源開発や政策形成につなげていく必要がある。

第8期における具体的な取組

①地域ケア会議の推進

個別ケースから地域課題を把握し、課題解決に取り組む。
地域支援の開発による支援の充実や新たな政策形成を行う。

目標（事業内容、指標等）

事業内容・指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度
自立支援型個別ケア会議	検討件数	24	24	24
地域ケア個別会議	検討件数	2	2	3

目標の評価方法

●時点・・・実績評価のみ

●評価の方法

- ・開催回数が目標値に到達できたか。
- ・個別ケースの検討から地域課題を把握し、関係機関が協働して問題解決に取り組むことができたか。

年度	令和4年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

実績評価

実施内容																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th></th> <th>R4 度実績値</th> <th>R4 度目標値</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">自立支援型個別ケア会議</td> <td>開催回数</td> <td>12</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検討事例数</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域ケア個別会議</td> <td>開催回数</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検討事例数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>					事業内容		R4 度実績値	R4 度目標値	達成率	自立支援型個別ケア会議	開催回数	12	-		検討事例数	24	24	100.0%	地域ケア個別会議	開催回数	1	-		検討事例数	1	2	50.0%
事業内容		R4 度実績値	R4 度目標値	達成率																							
自立支援型個別ケア会議	開催回数	12	-																								
	検討事例数	24	24	100.0%																							
地域ケア個別会議	開催回数	1	-																								
	検討事例数	1	2	50.0%																							
<p>・「自立支援」と「地域ネットワークの構築」を目的にそれぞれの会議を開催した。自立支援型個別ケア会議においては会議後のモニタリングと評価を行った。</p>																											
自己評価結果 【◎】※																											
<p>自立支援型個別ケア会議では、利用者の「自己実現」「心身及び生活機能の維持向上」「活動・参加」に焦点を当て、リハビリテーション専門職を助言者とし多職種で支援方針を検討することができた。地域ケア個別会議では、地域から上がった心配事について、民生委員や家族、本人、支援者が一緒に検討したり、ネットワークを構築することができた。</p>																											
課題と対応策																											
<p>令和4年度より、個別事例からみえてきた地域課題に対し、資源開発や政策形成につなげることを目的とした「地域ケア推進会議」を実施し、庁内で課題共有を行った。今後もひきつづき、個別ケースの検討から地域課題を把握・共有し、地域や多職種が連携して問題解決に努めていく。</p>																											

※「◎達成できた ○概ね達成できた △達成はやや不十分 ×全く達成できなかった」

年度	令和3年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

実績評価

実施内容				
事業内容		R3 度実績値	R3 度目標値	達成率
自立支援型個別ケア会議	開催回数	12	-	
	検討事例数	25	24	104.2%
地域ケア個別会議	開催回数	2	-	
	検討事例数	2	2	100%
<p>・「自立支援」と「地域ネットワークの構築」を目的にそれぞれの会議を開催した。自立支援型個別ケア会議においては会議後のモニタリングと評価を行ったことでより自立支援につながった。</p>				
自己評価結果 【◎】※				
<p>自立支援型個別ケア会議と地域ケア個別会議を位置づけて、利用者の「自己実現」「心身及び生活機能の維持向上」「活動・参加」に焦点を当て、リハビリテーション専門職を助言者とし多職種で支援方針を検討することができた。</p>				
課題と対応策				
<p>今後も個別ケースの検討から地域課題を把握し、地域や多職種が連携し問題解決に努めていく。</p>				

※「◎達成できた ○概ね達成できた △達成はやや不十分 ×全く達成できなかった」